

さいたま市民医療センターにてNK細胞腫瘍でご加療中の方へ

当院では多施設共同研究「異種移植マウスモデルを用いたアグレッシブNK細胞白血病の腫瘍微小環境解析」に参加しております。この研究はアグレッシブNK細胞白血病の病気の仕組みを理解し新たな治療法を開発するために多施設で行われる共同研究です。

【研究課題】

異種移植マウスモデルを用いたアグレッシブNK細胞白血病の腫瘍微小環境解析

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関　さいたま市民医療センター　内科
研究責任者　血液内科　科長　和田英則
担当業務　データ収集・匿名化

【共同研究機関】

研究機関　東海大学医学部基盤診療学系先端医療科学　教授　幸谷　愛
担当業務　データ収集・解析・実験・論文執筆

【研究期間】

2021年5月14日から2024年3月31日まで

【対象となる方】

～ 2023年9月30日の間に当院血液内科でNK細胞腫瘍と診断された患者さん

【研究の意義】

アグレッシブNK細胞白血病はまだ病気の仕組みが分かっておらず、標準治療もありません。そのため研究を進めて新しい治療法を開発する必要があります。

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、「異種移植マウスモデルを用いたアグレッシブNK細胞白血病の腫瘍微小環境解析」について解明することを目的とした共同研究を実施するためです。

【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会、東海大学臨床研究審査委員会の承認を受け実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータ、これまでに診療の中で既に得た血液、骨髄液、その他腫瘍由来組織を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

本研究は多施設共同研究であり、各分担施設ではNK細胞腫瘍の患者さんから末梢血10mlもしくは骨髄液2mlを採取して、研究代表施設である東海大学へ郵送で送ります。またこれまでに診療の中で既に得た血液、骨髄液、その他腫瘍由来組織を送る場合もあります。東海大学では、送られてきた検体から腫瘍細胞を分離してマウスに移植し、腫瘍のマウスモデル

を作成し、このマウスモデルを用いて病態解明や新規治療開発を目指した解析を行います。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、東海大学医学部に送られ解析・保存されますが、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当院において血液内科 和田英則（管理責任者）が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけた USB で厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当院においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2023年9月30日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式にして学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、公的研究費である医療研究開発機構の研究費（研究課題名：劇症型NK白血病における独特なニッチの分子基盤解明とその制御法開発、研究代表者：幸谷愛）や日本学術振興会の科学研究費助成事業の研究費（研究課題名：急性NK白血病における腫瘍微小環境解析、研究代表者：幸谷愛）から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2021年5月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 血液内科 和田英則

住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1

電話：048-626-0011